別紙1

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和7年1月21日

協議会名：深川市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
空知中央バス㈱	運行系統名：市内循環線 運行区間：深川西高校方面先回り あけぼの方面先回り 起点：深川市立病院前 終点：深川駅前 運行回数：深川西高校方面先回り 平日：4便　土日祝：3便 あけぼの方面先回り 平日：4便　土日祝：3便 運賃：190円	深川市地域公共交通活性化協議会と連携を密にした路線バス乗り方教室や循環線無料Dayの実施により、利用者数の確保に努めた。	A	計画通りの運行がなされ、適切に事業が行われた。		▼目標（令和6補助年度利用者数） 21,200人 ▼実績 21,554人 人口減少等の影響があったが、「高齢者バス利用料金助成事業」や「路線バス乗り方教室」、「循環線無料Day」の実施に一定程度の効果があったことにより、令和5補助年度実績及び目標値を上回る実績となった。	令和6年12月からの運賃改定により、路線バス利用者の減少が危惧されるため、「高齢者バス利用料金助成事業」の継続実施かつ事業の見直しを視野に、継続的な利用者数の確保に努める。 また、深川市地域公共交通活性化協議会と連携を密にし、「路線バス乗り方教室」や「循環線無料Day」を実施し、新規利用者数の確保に努めるとともに、利便性向上及び収支改善に努める。

別紙１－２

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月21日

協議会名：	深川市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

地域の交通の目指す姿 （事業実施の目的・必要性）	深川市は、北空知圏域をはじめとする広域連携によるまちづくりを推進しており、周辺市町を結ぶバスや鉄道は、北空知圏域の住民を中心とした通学や通院、買物等の足として重要な役割を果たしている。 市内循環線は、JR深川駅、各病院、公共施設、商業施設などの主要施設や、まちなかの住宅密集地などを結び、市内移動の基幹的な役割を果たすとともに、周辺市町と深川市を結ぶ広域路線に接続する重要な位置づけにある。 また、今後は人口減少や少子高齢化が加速し、利用者が減少していくことが予想される中で、持続可能な公共交通網の形成を図るためには市内循環線は極めて重要な路線であることから、利用実態に応じた形に効率化したうえで維持・確保していく必要がある。

深川市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

深川市は、北空知圏域をはじめとする広域連携によるまちづくりを推進しており、周辺市町を結ぶバスや鉄道は、北空知圏域の住民を中心とした通学や通院、買物等の足として重要な役割を果たしている。

市内循環線は、JR深川駅、各病院、公共施設、商業施設などの主要施設や、まちなかの住宅密集地などを結び、市内移動の基幹的な役割を果たすとともに、周辺市町と深川市を結ぶ広域路線に接続する重要な位置づけにある。

また、今後は人口減少や少子高齢化が加速し、利用者が減少していくことが予想される中で、持続可能な公共交通網の形成を図るためには市内循環線は極めて重要な路線であることから、利用実態に応じた形に効率化したうえで維持・確保していく必要がある。

地域公共交通の現況

・JR函館本線、留萌本線
　深川駅、納内駅、北一已駅
・空知中央バス㈱
　広域5路線、市内4路線
・北海道中央バス㈱
　都市間バス1路線
・道北バス㈱及び沿岸バス㈱
　広域1路線
・ジェイ・アール北海道バス㈱
　広域1路線
・タクシー事業者2社
　音江ハイヤー㈲、㈲納内ハイヤー

生活交通確保維持改善計画の目標

■令和6補助年度利用者数：21,200人

人口減少や少子高齢化などにより、路線バス需要の低下に歯止めがかからない中、コロナ禍以前の状況まで回復することは見込めないため、令和4年度年間利用者数と同じ数値を目標とする。

協議会開催状況

▼第1回会議　令和5年6月23日（令和6年度）
・地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について

▼第2回会議　令和6年3月27日（令和6年度）
・地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について

▼第4回会議　令和7年1月21日（令和6年度）
・地域内フィーダー系統確保維持計画の評価について

令和６年度事業概要

【系統名】市内循環線（深川西高校方面先回り、あけぼの方面先回り）
起点：深川市立病院前
終点：深川駅前
運行回数：深川西高校方面先回り　平日：4便　土日祝：3便　　あけぼの方面先回り　　平日：4便　土日祝：3便
運賃：一律190円

令和６補助年度事業の実施状況

１）プロセス、創意工夫

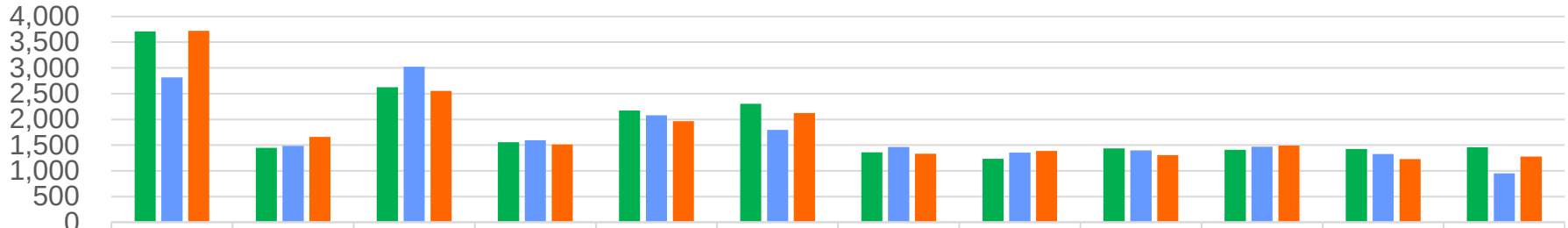
・令和2年4月1日より、回り方を2通りにしたことにより、利用者が目的地としている場所まで短時間で移動できるようになった。
　また、令和3年4月1日には、【①循環線を通学の時間帯に対応②土日祝の各系統1便目の運休】のダイヤ変更を行った。
・令和6補助年度においては、昨年度に引き続き、運行回数（費用）を抑えつつ、「循環線」としては令和4年に次ぐ利用者数を確保することができた。
・満70歳以上の市民を対象とした高齢者バス利用料金助成事業の継続実施により、利用促進を図った。
・地域住民等を対象とした「路線バス乗り方教室」を、市のイベント「スプリングフェスタ」の一環として継続実施し、路線バスの乗り方を説明したほか、実際に乗車体験をしてもらい、「循環線」の利便性や運行経路などについて知ってもらう機会を設けた。
・市内中心部で実施されるイベントに合わせて「循環線無料Day」を実施し、普段バスを利用することが少ない方々などの利用促進や同日実施されているイベントの利用促進につなげた。

２）運行系統

▼深川西高校方面先回り

▼あけぼの方面先回り

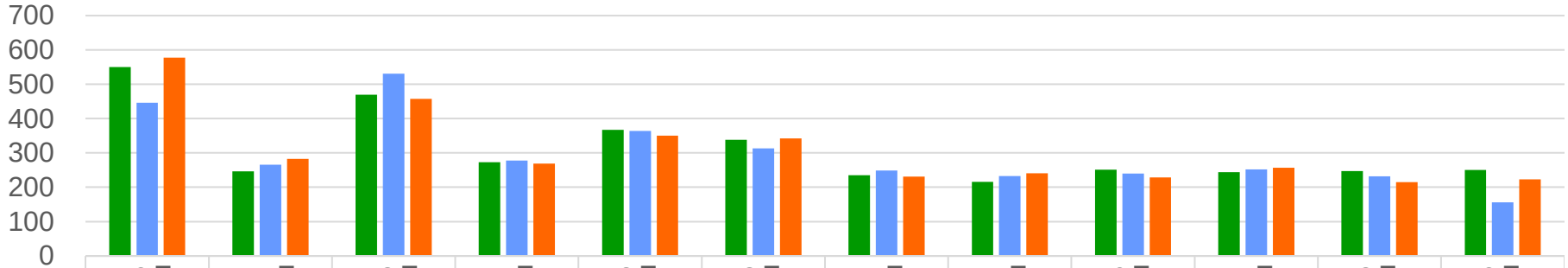
３）利用実績



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
R4	3,708	1,448	2,623	1,554	2,173	2,303	1,358	1,236	1,437	1,410	1,423	1,459
R5	2,817	1,483	3,023	1,594	2,081	1,794	1,463	1,354	1,398	1,470	1,327	948
R6	3,721	1,661	2,552	1,512	1,966	2,124	1,330	1,384	1,304	1,489	1,231	1,280

・Ｒ４(R3.10～R4.9) 年間22,132人　・Ｒ５(R4.10～R5.9) 年間20,752人　・Ｒ６(R5.10～R6.9) 年間21,554人

４）収入実績



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
R4	550	246	470	273	367	338	235	216	251	244	247	250
R5	446	266	531	278	364	313	249	233	240	252	232	156
R6	578	283	458	269	350	342	231	241	229	257	215	223

・Ｒ４(R3.10～R4.9) 年間3,686千円　・Ｒ５(R4.10～R5.9) 年間3,559千円　・Ｒ６(R5.10～R6.9) 年間3,676千円

5）事業実施の適切性

計画通りの運行がなされ、適切に事業が行われた。
なお、目標達成に資する事業として「高齢者バス利用料金助成事業（通常運賃よりも安価に路線バスを利用することができる乗車券を販売）」や「路線バス乗り方教室」の継続実施により、路線バスの利用促進に一定程度の効果があったと評価している。
また、今補助年度から本格実施した「循環線無料Day」も市内中心部で実施されているイベントと同日に実施することで、イベント会場への交通手段として利用していただくだけでなく、普段あまり路線バスを利用しない方への利用促進等にもなり、一定程度の効果があるものと評価している。

6）目標・効果達成状況

【目標】

令和6補助年度利用者数：21,200人

【実績】

令和6補助年度利用者数：21,554人

【達成状況】

人口減少等の影響があったが、「高齢者バス利用料金助成事業」や「路線バス乗り方教室」、「循環線無料Day」の実施に一定程度の効果があったことにより、令和5補助年度実績及び目標値を上回る実績となった。

7）事業の今後の改善点

令和6年12月からの運賃改定により、路線バス利用者の減少が危惧されるため、「高齢者バス利用料金助成事業」の継続実施かつ事業の見直しを視野に、継続的な利用者数の確保に努める。
また、深川市地域公共交通活性化協議会と連携を密にし、「路線バス乗り方教室」や「循環線無料Day」を実施し、新規利用者数の確保に努めるとともに、利便性向上及び収支改善に努める。

8）地方運輸局等における二次評価結果（案）

運輸局記載欄